



自民党栃木県第4選挙区支部長/衆議院議員

佐藤 勉 (さとう つとむ)

昭和27年6月20日生まれ(72歳)。34歳、県議会議員初当選。44歳、県議3期目任期中に衆議院選挙に出馬し、初当選。以降、衆議院選挙9期連続当選し、現在に至る。

【略歴】(現職)自由民主党経理局長、自由民主党総務会長、衆議院憲法審査会長、衆議院国家基本政策委員長、衆議院議院運営委員長、衆議院国会対策委員長、総務大臣、国家公安委員会委員長等を歴任。

【趣味】ゴルフ・映画鑑賞。

与党過半数割れ

新年明けましておめでとうございます。皆様2025年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年10月におこなわれた第50回衆議院議員総選挙において、小選挙区では惨敗となりましたが、比例代表枠で10期目の再選を果たすことが出来ました。ひとえにご支援をいただいた皆さまのおかげと、心より感謝いたします。

9月の自民党総裁選で石破新総裁が誕生し、若干の支持率回復を受けて、早期解散にふみ切りました。しかし、派閥の裏金問題による自民党への逆風はつよく、非公認候補が代表を務める支部政党への交付金支給の報道も重なり、与党で過半数を割り込む結果となりました。厳しい国会運営が必須となるため、これまでの国会対策委員会での経験・人脈を活かして、丁寧な対応を心がけたいと思います。

岸田政権下では非主流派の立場でしたが、石破政権誕生に貢献したことを評価していただき、『自民党経理局長』の役職を拝命しました。党の資金を管理する立場であり政治資金規正法の改正により、国民の皆さまに疑義を持たれることがないようなルール作りを進めていきたいと思ひます。

米国では共和党のトランプ氏が大統領に再就任しました。フランスでは62年ぶりに内閣不信任が可決し、韓国では国会により弾劾を受けた尹大統領が逮捕される事態となっています。世界的に政治が不安定となるなか、日本も同様な事態とならぬよう、信頼回復に全力をつくす所存です。



選挙制度改革

私は現行の小選挙区比例代表制度が導入された1994年の衆議院選挙で初当選しました。以降9回の選挙を経て、30年近く国政で活動しています。

1988年のリクルート事件を発端として、『政治とカネ』の問題による政治不信を招いたことにより、政治資金規正法の改正とともに、公職選挙法が改正されて、現行の小選挙区制に移行した経緯があります。くしくも昨今の派閥裏金問題による政治不信の状況と酷似していると感じています。政治資金規正法改正はもとより、選挙制度改革にも取り組む必要があると思います。

石破総理も年頭のあいさつで選挙制度改革に取り組む決意を表明されました。ほとんどの派閥が解消となった今、より民意の反映されやすい制度を超党派の議員で議論する環境を整えたいと思います。



R5年 選挙制度協議会で、与野党国対委員長へ申入れ

第27回参議院議員選挙

今年7月には参議院選挙が予定されています。引き続き厳しい情勢が予想されます。

栃木県で改選をむかえる高橋かつのり先生は国土交通省副大臣の要職に就き、栃木県はもとより全国から頼りにされています。公務により活動が制限される可能性が高いため、本人不在でもしっかり選挙体制を整えて、厳しい戦いを乗り越えたいと思います。

さとう勉事務所

✉ ご意見・ご質問は、こちらへ
g02103@shugiin.go.jp

Web や SNS でも
情報発信しています



ホームページ



Instagram



Facebook

小山
事務所

TEL : 0285-25-7878
FAX : 0285-25-7900
〒323-0014
栃木県小山市喜沢 84

真岡
事務所

TEL : 0285-83-7788
FAX : 0285-83-7786
〒321-4305
栃木県真岡市荒町 3-45-7
コスモシティ101号室



国へ 未来へ 次世代へ つなぐ。

討議資料